



2025-2026 年度
7月号
NO. 428

強調月間

キックオフ

THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO HIGASHI

CHARTERED 1988

〒135-0016 江東区東陽 2-2-20 東京 YMCA 東陽町コミュニティセンター内 TEL03-3615-5565

国際会長：エドワード・オン(ツガホール) 主題「信念、愛、行動」
アジア太平洋地域会長：田上 正(日本) 主題「信念と愛を持って行動しよう！」
東日本区理事：山下 真(十勝) 主題「ワイズのらしさ再発見」
関東東部部長：鈴木雅博(江東) 主題「CHANGE(変革)若者から発信！」
東京ひがしクラブ会長：鮎澤正和 主題「マンネリを楽しみながらさらに前へ！」

7月例会

と き 2025年7月10日(木)
18:30~20:30
ところ 東陽町センターYMCA ホール

受付 田島和子
司会 金丸満雄

★プログラム

開会点鐘
ワイズソング/信条
会長挨拶 会長 鮎澤正和
ゲスト紹介
食前の感謝
食 事
今月の誕生日・結婚記念日
総会議事
・2024-2025 年度活動報告・会計報告
・2025-2026 年度活動方針・予算案
スマイル
各種報告
閉会点鐘

✚ 今月の聖句 ✚

『すると全会衆は静かになり、バルナバとパウロが、自分たちを通して神が異邦人の間で行われた、あらゆるしるしと不思議な業について話すのを聞いていた。』

— 使徒言行録 15章12節 —

☆☆マンネリを楽しみながらさらに前へ！☆☆

会長 鮎澤正和



2025-2026 年度が始まりました。昨年度はワイズ活動から少し身を引いていた私が会長を引き受けましたが、やはり今浦島の感
は拭えず皆様にはさぞストレスが溜まった一年だったと申し訳なく
思っています。その私がまた会長

になったことは、何かの罰ゲームかと思いましたが、気を引き締めて任にあたらせていただきたいと思います。

昨年度はクラブのプログラムを継続するにあたり、マンネリの中にも新しいものを見いだそうという思いから、「マンネリを楽しんで一歩前へ！」としましたが、継続する思いで今年度はさらに進んで、「マンネリを楽しみながらさらに前へ！」としました。やはり一年では、なかなか目に見える成果は得られないと思います。か、と言って長ければ良いという訳でもありません。意識の問題だと思いますが、日々の取り組みの中から何か掴めていけたら良いなと思っています。健康に留意しながら引継ぎ、「出来る事を、出来る時に、出来る人が」で、取り組んで行きたいと思っています。

改めまして今年度もよろしくお願い致します。

6月例会

出席者 15名 ビジター 名
ひがし出席数 11名 ゲスト 4名
メキヤップ 名
(在籍数 14名 広義会員2名)

ひがし会員出席率 92%

スマイル

2024-2025 年度
累計 57,500円

2025-2026 年度役員

会 長 鮎澤正和
副会長 金丸満雄
書 記 金丸満雄
会 計 田島和子
担当主事 沖 利柯

◆賑やかな納会で一年を振り返る◆

6月12日(木)、ひがしクラブの一年間のワイズ活動を締めくくる納会が、東陽町「魚魯魚魯」にて開催。15名(ゲスト4名)の出席で和やかで温かい雰囲気の中行われた。体調を崩されていた野本さんも、しばらくぶりに元気なお姿で出席され、喜びの声が上がった。また、OBの久保重さん、関ママ、さらにはリーダー2名のゲストも加わり、一層華やかさが増した。会場の「魚魯魚魯」は、以前にも親しまれていた場所であり、久しぶりの開催に懐かしさを感じる声も聞かれた。美味しい料理とお酒を囲みながら、今年度の活動を振り返り、それぞれが印象に残った出来事や思い出を語り合う中で、笑顔と笑いが絶えない楽しいひとときとなった。来年度も、ひがしクラブがさらに活発な活動を展開できるよう、メンバー同気持ちを一つにして、クラブの絆を再確認し、新たな年度への意欲を高め、続投する鮎澤会長に熱いエールを送り閉会した。



☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆



★今月の誕生日

山口 隆メン(8日)

千代澄子メット(6日)



YMCAニュース

担当主事 沖 利柯

▼ウォーターセーフティーキャンペーン

全国のYMCAでは40年余りにわたり水上安全教育に取り組んでいます。その一環として今年度も6月に「ウォーターセーフティーデー」を一斉に実施しました。東京YMCAでは東陽町センターと山手センターで6月22日に、ウエルネスガーデン品川御殿山では6月29日に、幼児・小学生の親子を対象に、着衣泳体験や心肺蘇生法を学ぶプログラムを開催。また水上安全の知識を子ども向けに紹介している「ウォーターセーフティーハンドブック」を近隣の小学校、幼稚園、保育園等に無料配布しました。

▼財団役員人事

6月19日開催の定時評議員会にて、役員・評議員の改選が決議されました。同日をもって新任の評議員に片岡平和氏、倉友粹氏、蒔田敏雄氏が、また伊藤幾夫監事に替わり西川嗣夫氏が新監事に就任されました。

▼クリーンエネルギーへ切り替えました

東京YMCAでは各施設における二酸化炭素排出量を削減し、クリーンで持続可能なエネルギーの利用を推進するために、電力供給の再生可能エネルギーへの切り替えを進め、11の事業所(協働事業等を除く全ての事業所)で完了しました。また、5月19日には、国際ホテル専門学校の学生を対象に、「みんな電力」のスタッフによる特別授業を実施しました。講義では、気候変動の現状や再生可能エネルギーの重要性について学ぶとともに、授業の後半には「どの発電所から電気を買いたいのか?」をテーマに、山手コミュニティセンターで使用する電力の供給元を学生自身が選ぶワークショップ形式の取り組みも行いました。

▼七夕募金

東陽町コミュニティセンターでは7月1日からロビーに笹を飾り、みんなの願いを短冊にかいてもらっています。同時に世界や地域の子どものための募金活動も展開中です。是非、みなさまの願いもお書きください。

東日本区大会記

田島和子

6月7日、第28回東日本区大会に、行って来ました。宇都宮駅直結の、大変アクセスの良い場所での開催でした。初参加の私には何か良くわからないうちに、セレモニーが始まり、プログラムの中でひがしは、江東と一緒に、クリーンレンジャーに対しての、特別賞をいただき、鮎澤会長が壇上にて表彰されました。

後半には、立川晴の輔師匠に依る、笑点にまつわるトークと、落語を聞き大爆笑の中で終わりました。晚餐会では、4店舗による餃子の食べ比べの行列に何往復もならび、次々と焼きたてを食べて、お腹いっぱいになりました。夜は、竹内さんも一緒に二次会となり、時間を忘れて盛り上がりしました。

翌日は、大谷資料館に行き、巨大空間の地下30mに広がる採掘場を見学し、驚きと感動を体験しました。あっという間の2日間を楽しくすごし帰京しました。

※東日本区各事業表彰で、親クラブの東京江東クラブと共に表彰されました。

